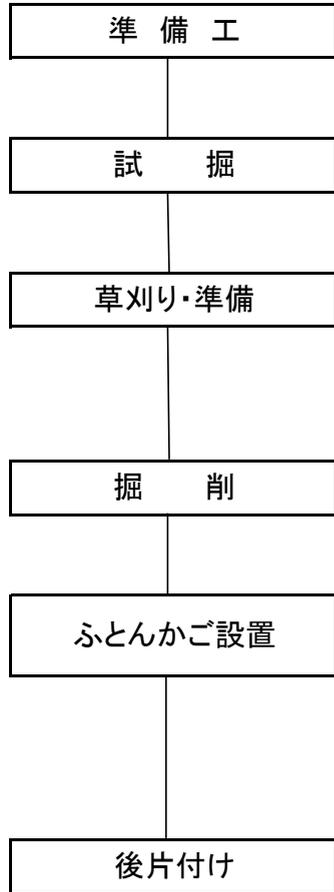


ふとんかご工の作業手順



内 容	留 意 事 項
作業内容の確認 作業人員の確認 保護具の点検 使用機械、資材、工具の点検	指示書の内容確認 安全ミーティング日報による 作業別安全チェックシートの活用。
施工箇所に埋設ケーブルが有るか、無いか、図面にて確認し有る場合は、ふとんかご掘削範囲にあたってないか、ふとんかごの下ないし、のり面側にある場合は埋設ケーブルの移設をしてもらう。	埋設管を傷つけない様に、人力にて掘削を行い、関係部署の立ち会いを受ける。 ※ケーブルを仮移設する場合のり面上部に大きく移設する。(作業の支障にならない場所、万が一のり面が崩れても埋没しない場所)
施工箇所の下地処理として草刈りを行う場合は、別紙草刈り手順書に従い施工を行う。本線及び被害の出るカ所等で施工するときは飛散対策としてネット等で防護は実施する。(トリマー作業可) スコップ等を扱う際は無理にこじたり力任せに振り回さないこと。(飛石注意) 掘削範囲の落石防護網は一旦まくり上げる。 耐候性土のうを撤去する。	有資格者による機械作業を行う。 飛散防止対策の実施(ネット・トリマー使用等) 網を傷つけないように注意する。 腰を痛めないように注意する。
掘削範囲を丁張及び現況のシールコンクリートから確認しマーキングする。 運搬車で搬入した重機で掘削を行う。 コンクリートシールにカッターを入れて取壊す。 残土をダンプに積み込む。	有資格者による機械作業を行う。 飛散防止対策をする。保護具、保護メガネを使用する。 重機、ダンプの誘導を確実にを行う。 ダンプへの過積載に十分注意をする。 掘りすぎないように丁張、糸から確認する。
プレートコンパクターを使用し転圧を行う。 施行箇所の掘削が終了したら、吸出し防止材を敷設する。 ふとんかごを組み立てて、吸出し防止材の上に設置する。 栗石を投入する。(200～150mm、150～50mmの材料を使用する。) かごの目から出ないように大きめの材料で外周を積み上げる。 なるべく隙間の無いように中詰めをする。	ふとんかごが土砂と接触する 必要に応じて結束バンド、番線等で隣のふとんかごと連結する。 かごを変形させないように投入する。 必要に応じて上にかごや盛土が乗ってくる場合崩れたり、変形しないように目つぶし入れる。
ふとんかごの天板をのせ蓋をして、吸出し防止材をふとんかごにあて、埋戻す。 使用した道具、機材、余った材料等は、トラックに積み込み、最後に竹ぼうきなどで清掃する。	埋戻まえには出来形写真を撮る。 使用した道具等は、現場に忘れ物が無いように確認する。 はつきらず、土砂が無い様に、綺麗に清掃する。
降雨予想があるときはシート養生を行う。 終礼の実施	養生シートを使用する場合は、風等による飛散を防止する。 安全ミーティング日報による

注意事項 機械作業は、有資格者が必ず行う。
車輛の誘導を確実にを行う。
作業に合った保護具を使用する。
移動前に積載物の落下防止対策を実施し、複数人で確認する。
車両を後退させる際は誘導員と打合せ実施後移動する。